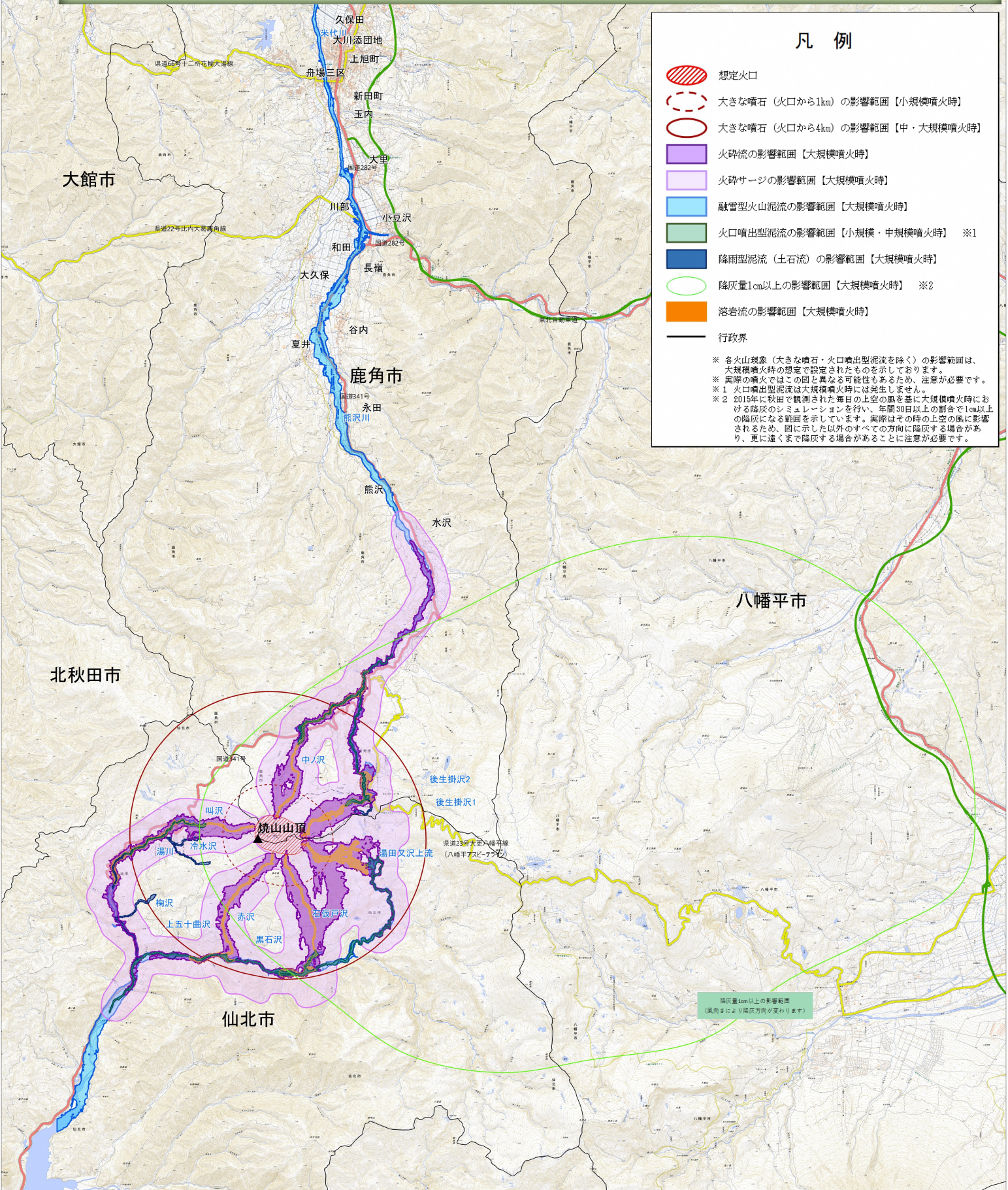




秋田焼山火山ハザードマップ



凡例

-  想定火口
-  大きな噴石（火口から1km）の影響範囲【小規模噴火時】
-  大きな噴石（火口から4km）の影響範囲【中・大規模噴火時】
-  火砕流の影響範囲【大規模噴火時】
-  火砕サージの影響範囲【大規模噴火時】
-  融雪型火山泥流の影響範囲【大規模噴火時】
-  火口噴出型泥流の影響範囲【小規模・中規模噴火時】 ※1
-  降雨型泥流（土石流）の影響範囲【大規模噴火時】
-  降灰量1cm以上の影響範囲【大規模噴火時】 ※2
-  溶岩流の影響範囲【大規模噴火時】
-  行政界

※ 各火山現象（大きな噴石・火口噴出型泥流を除く）の影響範囲は、大規模噴火時の想定で設定されたものを示しております。
 ※ 実際の噴火ではこの図と異なる可能性もあるため、注意が必要です。
 ※ 1 火口噴出型泥流は大規模噴火時には発生しません。
 ※ 2 2015年に秋田で観測された毎日の上空の風を基に大規模噴火時における降灰のシミュレーションを行い、年間30日以上の割合で1cm以上の降灰になる範囲を示しています。実際はその時の上空の風に影響されるため、図に示した以外のすべての方向に降灰する場合があります。更に遠くまで降灰する場合がありますことに注意が必要です。

